

作成日：2022 年 11 月 21 日

研究協力のお願

昭和大学江東豊洲病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

造影剤注入装置接続時のテストインジェクションから推測した脳血管造影条件の適正化

1. 研究の対象および研究対象期間

2019 年 4 月から 2025 年 1 月までに当院で脳血管造影検査を受けられた方。

2. 研究目的・方法

脳血管造影検査とは、脳血管（内頸動脈等）に造影剤で投与して、X 線撮影 (Digital Subtraction Angiography : 以下 DSA) する検査です。造影剤は造影剤注入器を用いて投与しています。内頸動脈撮影で造影剤注入器を用いて DSA 撮影する場合、標準的な造影剤投与条件を注入速度 4 ml/s、注入量 6ml としていますが、一部の患者さんでは標準的な造影剤投与条件が適合しておらず、目的外の血管（外頸動脈）まで描出してしまうことがあります。このことを防ぐために、造影剤注入条件（注入速度、注入量）を微調整して対応していますが、調整具合は経験則に依存し、適正化が行われていない問題があります。本研究の目的は造影剤注入器とカテーテルを接続したのちに少量の造影剤を注入するテストインジェクションの血行情報を調べることで、「①標準的な造影剤投与条件を用いた際に目的外の血管（外頸動脈）が描出されるか明らかにする。」「②標準的な造影剤投与条件で目的外の血管（外頸動脈）が描出される患者さんに対する適正な造影条件を導き出す。」ことです。本研究は学術研究であり、過去 5 年分の脳血管造影画像を利用します。

研究期間

昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究機関の長の研究実施許可を得てから、2025 年 3 月 31 日まで

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：当院で実施した脳血管画像データ（透視画像、撮影画像）、生体情報（心拍数、脈拍数、血圧）

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学江東豊洲病院放射線技術部 氏名：石本 陽平

住所：135-8577 東京都江東区豊洲 5-1-38 電話番号：03-6204-6150（放射線検査受付）

研究責任者：石本 陽平